

ファイバーレーザー

iQoM
ps/fs fiber laser

SESAMフリーの

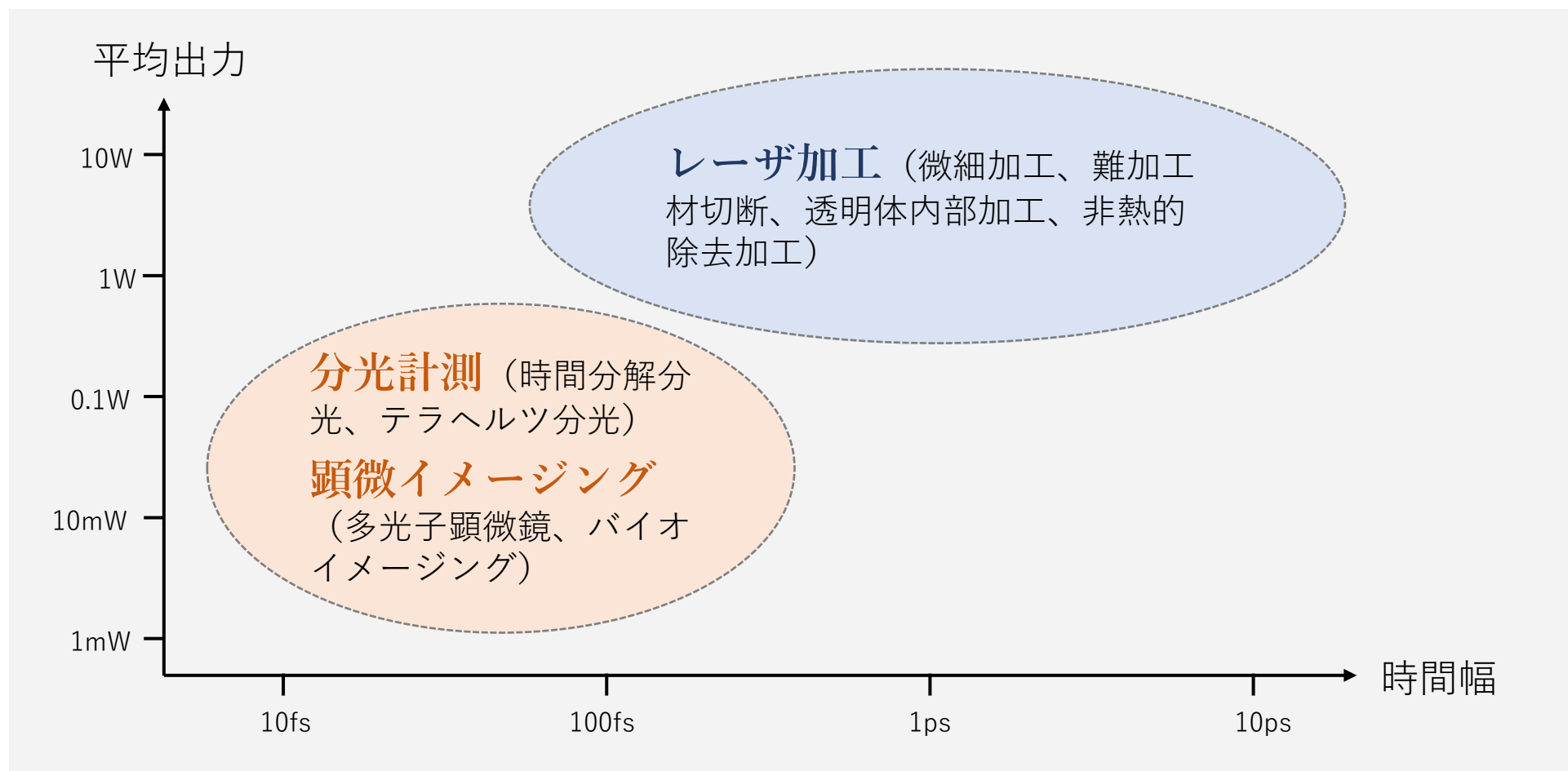
ピコ・フェムト秒 **ファイバーレーザー**



仕様

項目	現仕様 (Typical)	備考
中心波長	1040 nm (1035-1045nm custom)	1064 nm試作機準備中
時間幅	5 ps (2-10 ps)	パルス圧縮で<400fs
スペクトル幅	8 nm (3-10 nm)	
繰返し	15 MHz (6-18 MHz custom)	
出力強度	5 mW (4-10 mW)	プリアンプ付きで50mW
サイズ	200 mm x 150 mm x 50 mm	

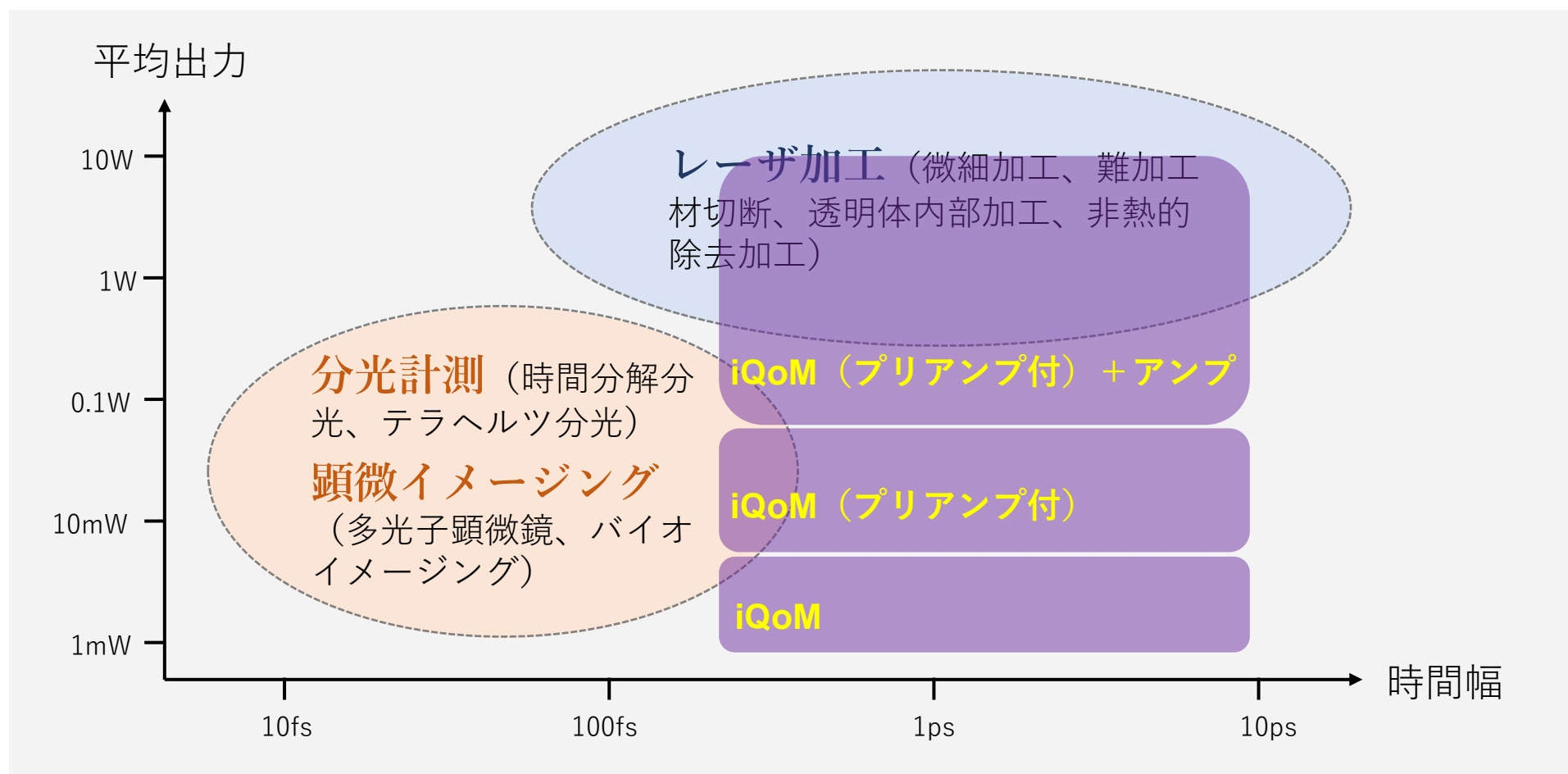
アプリケーション



アプリケーション

分光・イメージング

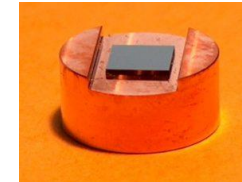
加工用レーザーの種光源



ピコ・フェムト秒ファイバーレーザーの動向

現状

ほぼすべてのピコ・フェムト秒ファイバーレーザーに、可飽和吸収素子（**SESAM**）が使用されている。



SESAM

課題

「SESAM ベースのファイバーレーザーには、簡単なセルフスタート、高繰返し、高安定性など、多くの利点がある。ただし、このテクノロジーの主な欠点は、SESAM の劣化によって引き起こされる比較的**短い寿命**だ」。

(2020.11 Laser Focus World)

SESAMフリーファイバーレーザー

通常、パルス発振をさせるのは難しいが、iQoMテクノロジー（特許出願済）により、

キースイッチ後、わずか^{世界最速}5秒以内にパルス発振※



特徴

- 高安定性
- 低ノイズ
- 全偏波保持ファイバー（耐環境）
- 高信頼性（長寿命）

※ パルスが安定発振するまでの時間が長いほど、ジャイアントパルスの発生確率が高まり、レーザおよび後段アンプの損傷リスクがより高まります。

お気軽にご相談ください

- デモ機の貸し出し
- 仕様カスタマイズ
- 周辺機器のご紹介